



飼育日誌



- 8/2 **ノドジロオマキザル** 陽太♂ 開腹手術。
- 8/3 **キリン** カンタ♂ 血圧・体温測定トレーニング実施。
- 8/3 **ポニー** 斜歯改善作業実施。
- 8/4 **ミニプタ** とん平 てんかん発作。
- 8/7 **ゾウ** 暑さ対策で、2階ベランダから散水するが近寄らない。
- 8/8 **オオカミ** シン♂ 夏毛が去年よりだいぶ白く変化。
- 8/10 **ゾウ** ♀寝室壁にゾウの絵を描いた。収容時少し気にしていたが問題ないと思う。
- 8/11 **カビバラ** 全身傷だらけで出血あり。穴が空いている部分もあり。発見時かなりショックの状態。
- 8/16 **アカカンガルー** クミコの子(スミス)♂と判明。
- 8/16 **ワピチ** ♂袋角が早くも抜け始めてきた。
- 8/17 **チンパンジー** ほぼ全頭夜の動物園の影響で眠そうな目をしていた。
- 8/18 **レッサーパンダ** 昨冬以降、久しぶりにナナ♀・ユウタ♀・ゆり♀を同居。
- 8/19 **クジャク** 足環青♂ やや執拗に追い回してきて、スキあらば、跳び蹴りをしてくる。
- 8/21 **ベニコングウインコ** 同居開始。
- 8/22 **ゾウ** ジャンボスイカを1個(50kg程度のもの)を放飼場に設置。翌日サル山にも給餌。
- 8/24 **シロフクロウ** ヒナ(展示場)4羽 採血・健康チェック。
- 8/24 **アカコンゴウインコ** メレブ♀ 足紐新調。
- 8/25 **アシカ** マヤ♂ 後鰭第IV指爪切り。
- 9/2 **アシカ** マヤ♂ 倒立にかなり苦戦。
- 9/5 **タンチョウ、コウノトリ** タンチョウペア2羽ともザリガニにかなり反応。コウノトリ ヒナAB ザリガニに驚く。
- 9/6 **レッサーパンダ** ユウタ♂ 左目の白濁強くなっている。
- 9/7 **ボリビアリスザル** ナツ 親の背中から降りて行動する範囲が広がってきている。
- 9/11 **テン** ♀ 猛獣舎から小動物舎に移動。
- 9/15 **シロフクロウ** ヒナ 姿が親とほぼ同じになり、性別は♂2♀2のようだ。
- 9/19 **オオカミ** ジュディ♀ 冬毛目立ってくる。
- 9/20 **シロフクロウ** ハク ジェス取り付け、繋留開始。
- 9/24 **ラマ** アンナ♀ 初めて頭絡をつけることができた。
- 9/24 **キョン** ♂ 袋角が少し剥がれ、角が露出してきている。
- 9/26 **マーコール** 若♂ 展示場のロープに角が絡まり一時宙吊り状態になる。
- 9/27 **イヌワシ** 月子 猛禽舎よりイヌワシ予備舎へ移動。
- 10/2 **カンガルー** トマノスケ♂ 麻酔下で治療。
- 10/13 **コモンマーモセット** ゆで卵を見て、群れ全体が興奮気味になる。
- 10/14 **キリン** 舎内低温のため遠赤ヒーター使用。
- 10/17 **チンパンジー** 全頭に、ゆで卵とおにぎり給餌。
- 10/20 **イヌワシ** 千秋と風雅 健康チェック及び体重測定後同居。
- 10/24 **アカカンガルー** カンガルーアイランドオープン。
- 10/27 **トナカイ** 3頭同居実施。
- 10/28 **シバヤギ** コハク♂ 去勢後、親子で予備寝室に収容。震えるが元気あり、採食確認。

- 11/2 **モモイロペリカン等** 食害対策で鳥類を越冬舎と病院へ移動する。
- 11/3 **ボリビアリスザル** 夕方馬肉給餌。警戒音発しなかなか食べない。
- 11/4 **イヌワシ** 第2ペアに巣材5本ほど投入。西目がすぐに反応。
- 11/7 **サル山** 冬用に餌の量を増やす。
- 11/7 **トナカイ** ルドルフ サクラを鳥っこの水辺に放飼(2頭同時は初)。
- 11/8 **コーンスネーク** シャネル 目の白濁継続。(脱皮の兆候)
- 11/12 **イヌワシ** (第1ペア)健康チェックおよび採血。(第1ペアのヒナ)マイクロチップ埋め込み実施。
- 11/21 **フラミンゴ** 16:00に納舎する様子に来園者に見てもらおう。
- 11/23 **イヌワシ** 第1ペアに巣材投入。
- 11/24 **ポニー** 装蹄師による削蹄実施。
- 11/25 **ゾウ** ♂ ターゲット棒で格子から耳を出させてみる(採血を想定)。♀ 採血。
- 11/26 **チンパンジー** お湯とカリウム酒100cc与える。
- 11/27 **ラクダ** ♂ 発情。かなり痩せてきている。体臭がきつくなってきた。
- 12/3 **サル山** 餌の入った風呂にお湯を入れる。2頭滑って風呂に落ちる。
- 12/7 **タンチョウ** 鶴太郎♂・お市♀で求愛ダンスらしきものをしていた。
- 12/8 **オオハシ** オオハシくん♂ 獣舎へ移動しお見合い。大きなトラブルなし。
- 12/8 **ツキノワグマ** 全頭、朝一、室内で眠そうにして動き鈍い。
- 12/9 **イヌワシ** (第2ペア)12:30頃、西目♀が受け入れる。
- 12/10 **ペンギン** 確実な交尾ではないが、交尾行動確認。
- 12/12 **トナカイ** 2015孵化個体トローバン埋込作業実施。
- 12/15 **ツキノワグマ** 翼帯落下個体群に翼帯付け。右黄黄青捕獲時、右側下顎嘴付け根付近、骨折。
- 12/16 **イヌワシ** 雁来♀ 体温測定モジュールのセンサー位置を上腕部に変更。
- 12/16 **キリン** 冬ごもりに備えて、給餌量を減らして1頭あたりリンゴ2kg、甘藷500g給餌する。
- 12/16 **プレーリードッグ** 鳥海♂ 健康チェック実施。
- 12/17 **ココチョウ** 水戻しルーサン給餌。
- 12/18 **ゾウ** ♀2匹とユズル♂ 病室4にて繁殖のため同居開始。
- 12/21 **イヌワシ** ヒナ 隣のプールに入っていた。トラブルはなし。
- 12/21 **ツキノワグマ** ♀ 陰部内のでき物は、良性的乳頭腫(パピローマ)とのことだった。
- 12/22 **アシカ** (第1ペア育雛ヒナ)隣のケージへ移動作業。冬ごもり開始。
- 12/22 **イヌワシ** 夜間、アイラ♀室内に隔離し、マヤ♂を正面プール・室内への行き来を自由にさせる。
- 12/22 **ココチョウ** 第1ペア1日を通して交尾が数回行われている様子。
- 12/27 **アシカ** ヒナの身体つきが急にココチョウらしくなった印象あり。
- 12/29 **ゾウ** マヤ♂アイラ♀ 昨晚同居状態となる。怪我はない様子。本日からそのまま同居とする。
- 12/29 **トナカイ** 2頭採血。♂久々に採血成功。
- 12/30 **アシカ** 砂を敷いてから室内利用率が高まった。
- 12/31 **トナカイ** アイラ♀ 夜間、寝室を乗り越えて再び♂と同居状態となる。

かたばた通信 退職にあたって 飼育展示担当 松井 健

1974年3月に臨時職員として大森山動物園に入り、1987年に正職員に採用されました。その後4回の異動を繰り返し動物園だけで30年以上勤務させていただきました。私が入ったころは、飼育の職員は9人と少なく、一人が受け持つ動物も今と比べてかなり多かったのを覚えています。動物園で働き始めたころ、チンパンジーのボンタが先輩飼育員の背中におんぶされてよく散歩に来ていました。まだ3歳位の小さなチンパンジーでしたが、私を見つけると威嚇しながら追いかけて来て、逃げ回っていた記憶があります。今では大の親友です。その後、いろいろな動物を担当しました。ペンギンは当時、

巣材を与えると営巣して、卵を産むのですが、抱卵することもなく繁殖しませんでした。そのため、少し工夫して巣を作ってやると抱卵するようになり、ヒナがかえりました。しかし、今度は育雛しませんでした。すぐに人工育雛に切り替えましたが、当時はまだ文献も少ない中で、試行錯誤をしながら無事に大きくすることができました。こんな繰り返していろいろな経験をしながら、今までやってきました。これも大森山動物園の先輩と私と一緒に働いてくださった同僚のおかげだと思い感謝しております。本当にありがとうございました。

